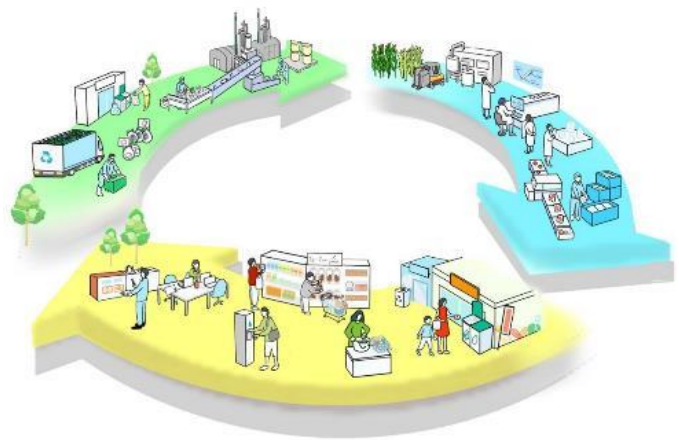




市町村回収モデル実証について



**プラスチックは
えらんで減らしてリサイクル**

埼玉県 環境部 資源循環推進課

主査 **萩原 義久**

県内市町村のプラスチックごみについて

○県内市町村のプラごみのリサイクル状況

- ・容リプラ・・・33市町村/63市町村(令和3年度実績)
- ・製品プラ・・・一部の市町村に限定



出典) 所沢市 令和4年度家庭の資源とごみの分け方・出し方

○市町村がプラスチック資源循環法に対応するためには

「容リプラ」と「製品プラ」を

他のごみから**分別収集**し、**再商品化**を行う必要がある

- ・分別収集・・・ステーション(ごみ集積所)回収、拠点回収等
- ・再商品化・・・指定法人(容リ協会)ルートで処理(32条)、大臣認定ルートで処理(33条)、独自処理



ステーション回収



拠点回収



製品プラ回収・リサイクル実証事業(幸手市)の概要

○幸手市のプラごみの処理状況

回収方法	プラごみの品目	処理方法
ステーション回収	ペットボトル	月に2回収集し、指定法人ルートで処理
	プラスチック製容器包装	毎週1回収集し、指定法人ルートで処理
	製品プラ(単一素材、金属等との複合製品)	燃やせないごみとして月に2回収集し、市施設で破碎・選別後埋立
	粗大ごみ	月に1回収集し、市施設で破碎・選別後埋立

製品プラ回収・リサイクル実証事業(幸手市)の概要

【概要】

・2022.11～2023.1 **3か月間、製品プラ全般**を回収する回収ボックスを市内の12施設※に設置し拠点回収。

※既存の小型家電製品の回収ルートを活用

⇒住民は、回収場所の**開館時間中**であれば、いつでも対象のプラごみを持参可

・2022.10 実証に先立ち、市民へチラシを配布(市の広報紙に挟んで配布)。
県、幸手市がそれぞれ報道発表を実施。

・回収物は**(株)エコマテリアル**が選別・ペレット化等して素材としてリサイクルする予定。

彩の国 埼玉県 幸手市からみなさまへお知らせ

「プラスチックごみ回収」実証事業へご協力ください!

埼玉県と幸手市では、「プラスチック資源の循環利用の推進」を重要課題に掲げ、官民一体となった「プラスチックごみの回収と新たなリサイクル」の仕組みづくりの検討を行っています。今回、試験的な取組みとして、**家庭から出るプラスチックごみを下記期間に回収**いたしますので、ご協力をお願いいたします。

◆回収期間
令和4年11月1日(火)～令和5年1月31日(火)

◆回収場所(プラスチックごみの持込先)

- 市役所本庁舎
- ウェルス幸手
- 各公民館
- 勤労福祉会館
- 老人福祉センター
- コミュニティセンター
- 図書館(本館のみ)
- アスカル幸手

牛乳パック回収箱の隣もしくはその近くに専用の回収ボックスを設置しています。

◆回収するプラスチックごみ
製品プラスチック全般
(概ね50cm以下のもの。ただし、衣装ケースについては、50cmを超えても対象。また、一部に金属が使用されているものも対象。)

詳しくは裏面をご確認ください

回収対象の「プラスチックごみ」の例

回収対象とならないもの

- ①プラスチック製の容器や包装(☒がついているもの)
- ②ペットボトル
- ③ガラスなど金属以外の素材とプラスチックの複合製品
- ④電池(乾電池、リチウムイオン電池等)が入っているもの
- ⑤土や油などの汚れが付いたもの
- ⑥小型家電の対象品
- ⑦家電リサイクル法の対象品(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)

◆注意事項

- これまでどおり燃やせないごみ等で出すこともできます。
- 一度出されたものを、返却することはできません。
- プラスチックごみ専用の回収ボックスに入れてください。
- 回収ボックスに入らない場合は、施設の職員にお声かけください。
- ご不明な点は、下記にお問い合わせください。

◆アンケートのご協力をお願いします!

今後、より良い「プラスチックごみ回収」の仕組みを検討するため、市民のみなさまにwebアンケートを実施しています(3分程度)。携帯電話またはタブレットより、右のQRコードを読み込んでアクセスしてください。みなさまのご意見をお待ちしております。
【アンケート実施期間: 令和4年10月1日～令和5年1月31日まで】 QRコード

お問い合わせ先: 埼玉県環境部資源循環推進課 048-830-3106 (直通)
幸手市民生活部環境課 0480-48-0331 (直通)

住民へ配布したチラシ

チラシでは、当実証に関するwebアンケートも掲載し、意識調査等も実施

製品プラ回収・リサイクル実証事業(幸手市)の概要

【実証事業のポイント】

- ・ 回収対象が**製品プラ全般**（プラスチックの素材を限定しない、金属付着物も可）
- ・ 回収場所が**市内全域をカバー**していて、プラスチック資源循環法の分別収集の手法として対応できうる規模
- ・ 職員による既存の小型家電回収ルートを活用した、**市の費用負担の少ない**回収方法
- ・ 県内のプラごみが県内で**マテリアルリサイクル**される**地域循環型**

幸手市民

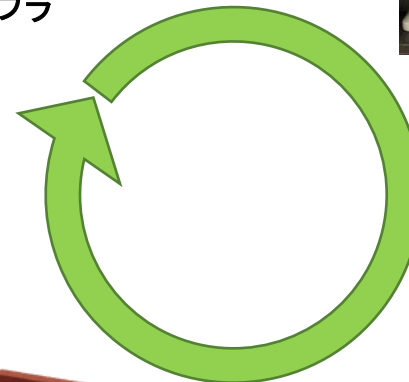


使用済み製品プラ

幸手市

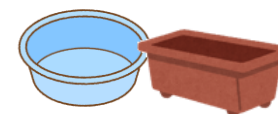


持込



販売

売却



リサイクル製品製造

販売



ペレット製造

加工業者

(株)エコマテリアル

実証事業のイメージ



製品プラ回収・リサイクル実証事業(幸手市)調査結果



11月回収物



12月回収物



1月回収物

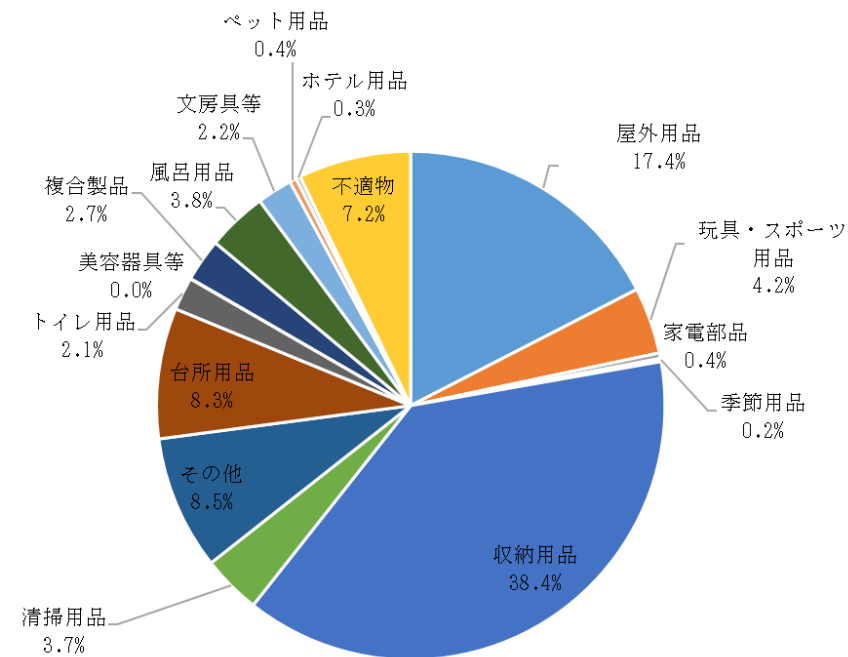


回収対象外の例

製品プラ回収・リサイクル実証事業(幸手市)調査結果

各施設の回収結果

ボックス設置場所	回収対象物総重量 (kg)				不適物総重量 (kg)			
	11月分	12月分	1月分	合計	11月分	12月分	1月分	合計
ウェルス幸手	47.61	9.76	23.45	80.82	0.88	0.07	1.58	2.53
市役所本庁舎	40.22	12.91	24.42	77.55	3.49	0.44	4.12	8.05
コミュニティセンター	37.96	19.89	7.88	65.73	2.04	0.29	0.24	2.57
老人福祉センター	10.09	14.61	11.72	36.42	-	-	0.49	0.49
西公民館	17.46	24.80	8.73	50.99	1.06	4.42	1.23	6.71
北公民館	5.81	2.07	1.85	9.73	-	2.23	2.38	4.61
勤労福祉会館	27.14	1.59	-	28.73	-	-	-	-
中央公民館	16.15	5.02	3.41	24.58	4.69	0.05	0.04	4.78
東公民館	46.26	27.74	24.85	98.85	2.21	1.15	2.77	6.13
図書館	15.68	2.58	6.88	25.14	0.83	-	0.40	1.23
南公民館	6.55	14.78	21.11	42.44	0.13	0.44	5.96	6.53
アスカル幸手	20.27	9.18	10.05	39.50	-	0.60	0.56	1.16
合計	291.20	144.93	144.35	580.48	15.33	9.69	19.77	44.79



回収物全体の重量別割合
(不適物を含む)

【結果概要】

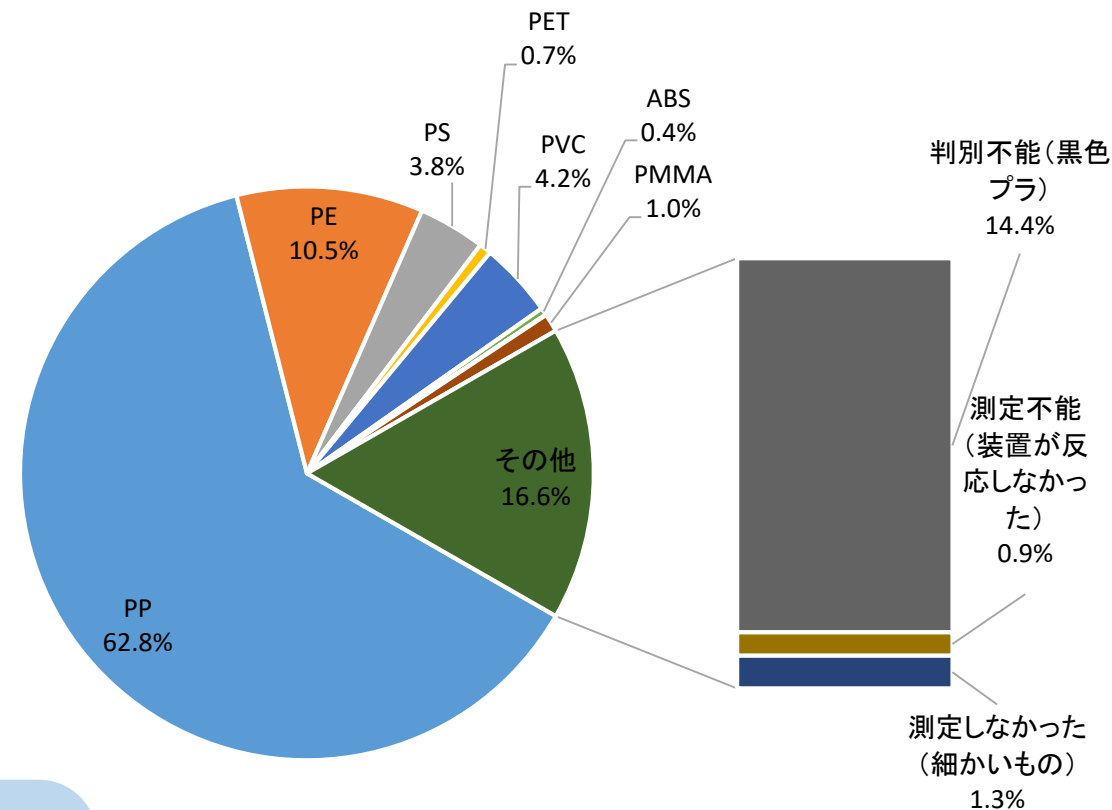
- ・回収期間3か月の全施設の回収対象物の合計は約580kg、回収対象外が約40kg(容リプラを含む)
- ・回収量の多かったものを重量ごとにみると、収納用品(衣装ケースなど)38.4%、屋外用品(プランターなど)17.4%



製品プラ回収・リサイクル実証事業(幸手市)調査結果

12月分回収対象物の素材別重量及び割合

素材	合計 (kg)	割合	
PP	182.75	62.8%	
PE	30.66	10.5%	
PS	10.98	3.8%	
PET	1.98	0.7%	
PVC	12.31	4.2%	
ABS	1.19	0.4%	
POM	0.09	0.0%	
PMMA	2.98	1.0%	
その他	判別不能 (黒色プラ)	41.95	14.4%
	測定不能 (装置が反応しなかった)	2.64	0.9%
	測定しなかった (細かいもの)	3.67	1.3%
合計	291.2	100%	



12月分回収対象物の素材別割合

【結果概要】

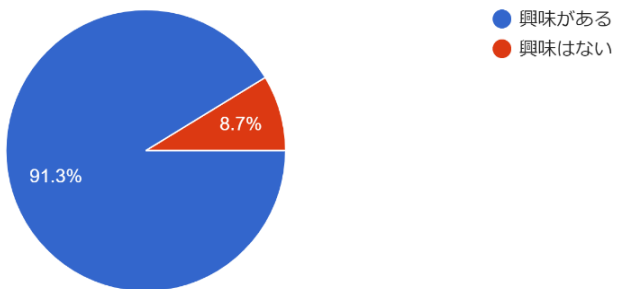
- ・12月分回収対象物を対象に素材構成の分析を行った。
- ・ポリプロピレン(PP)が全体の6割以上を占め、ポリエチレン(PE)が全体の1割以上を占めた。



製品プラ回収・リサイクル実証事業(幸手市) アンケート調査結果

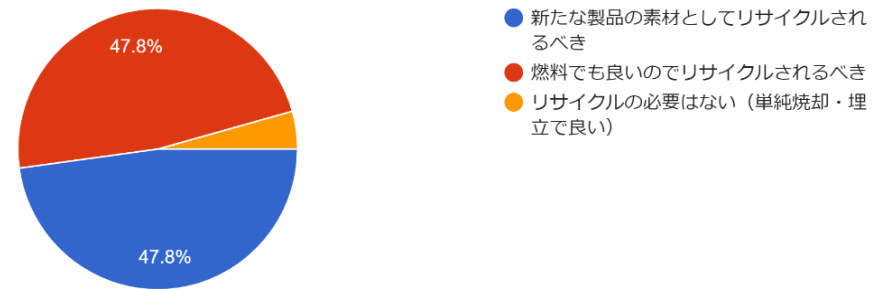
1. プラスチックごみのリサイクルに興味はありますか。

23件の回答



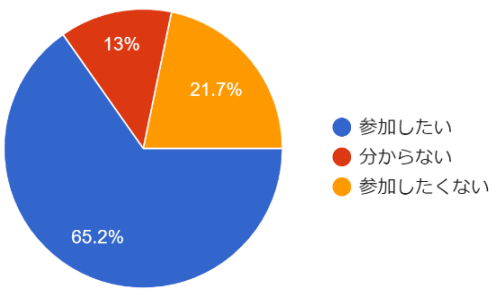
2. プラスチックごみはどのように処理されるべきだと思いますか。

23件の回答



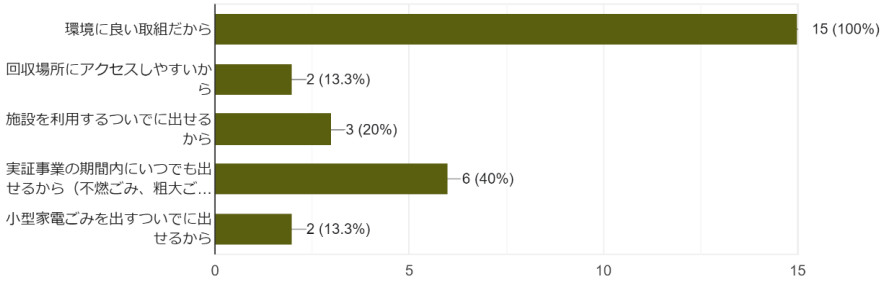
3. 今回の実証事業に参加したいと感じますか。

23件の回答



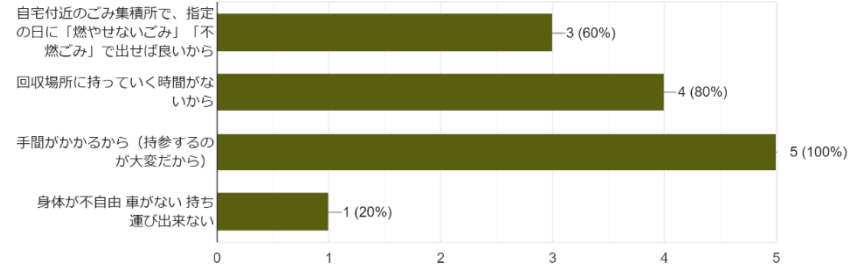
4-1. (3.で「参加したい」と回答した方へ...加したい理由を教えてください。(複数回答可)

15件の回答



4-2. (3.で「参加したくない」と回答した...たくない理由を教えてください。(複数回答可)

5件の回答



【結果概要】

- ・ 住民の多くがプラごみのリサイクルに興味を持っている一方、燃料でもよいと考える人も多い。
- ・ 本実証に参加したいと回答した人全員が「環境に良い取組」と考えていて、4割の方が「いつでも出せる」という拠点回収の特長にメリットを感じていた。